



森林レンジャーがゆく

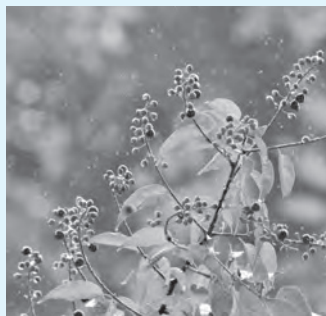
(7)

ウワミズザクラ

「上溝桜」

森全体がキラキラとした深い緑色になる5月。キンラン、ギンラン、クワガタソウ、ユキノシタ、オドリコソウなどの美しい山野の花々が楽しめる季節となりました。早いところでは、クサイチゴやモミジイチゴなどの実りが楽しめますが、キイチゴ類やヤマザクラ、ウグイスカグラ、クワ、グミなどはこれからです。森の野生動物にとっては待ち遠しい時季でしょうか。

今回紹介する植物は、ウワミズザクラです。文字どおりサクラの仲間ですが、サクラとして親しみのあるヤマザクラなどの花と見た目は違いますので、一見サクラの仲間には見えません。どんな花かというと、軸に多数の小さな白い花がふさの形でつきます。環境によりますが、花は、4月下旬ごろから咲き始めます。その後、花が結実すれば実もふさの形につき、8月ごろから完熟していきます。完熟までには、黄緑色から山吹、やまぶき紅、茜、あかね臙脂、えんじ黒紫色に変化します。ひとつのふさに色とりどりの実を一度に確認できるのでとて



ウワミズザクラの実 (8月)

7月下旬ごろから野生動物に、ウワミズザクラの種子が出現します。木に登ることができ、テンやサル、ツキノワグマなど、ふんに含まれていることが多いため、野生動物にはとても人気があるということが分かります。

ウワミズザクラは、農作物来不^{ふとまに}出来を占う日本最古の「太占」で使われたり、地域によって呼び名が違ったりと古くから人にも利用されていたようです。今でも、花のつぼみや緑色の葉を塩漬けにしたり、実を漬けにしたりと利用する人もいます。私は、完熟の黒紫の実を今年も一粒味わいたいと